

主な取組み・実績等

- ①障害者雇用率：(H23)2.31%、(H22)2.19% ※法定雇用率は1.8%
- ②重度知的障害者2名(うち1名は短時間勤務)と身体障害者1名を雇用中で、それぞれ、校内やグループホームの清掃業務、事務などに従事
- ③ジョブコーチ、トライアル雇用制度を有効活用し、職場への定着に積極的に取り組む

やる気と努力があれば障害など関係ない

長年、教育の世界に関わってきた今井理事長が大切にしている言葉は、『再チャレンジ』。欠点がなく、何でもそつなくこなす人など、世の中にはほんの一握りしかいないものです。人間、多かれ少なかれ失敗を繰り返しながら、それでも努力して立派に生きています。

また、『再チャレンジ』の精神は障害者だけに向けられているわけではなく、やる気のある者すべてに門戸が開かれています。

理事長の気持ちは障害者の雇用にもつながっています。「我々は障害者を1人の社会人として受け入れており、妙な遠慮はしません。仕事を失敗すれば叱るし、成功すれば一緒になって喜びます。むしろ私は真面目な努力家ならば、もっと障害者を雇用していいと思っています」。

このような考え方が反映され、スタッフの間に障害者という垣根は一切ありません。知的や身体に障害がある3名のうち、平成21年から働く西村勇介さんは館内の清掃業務を担当しており、週5日、健常者の仲間とともに充実した汗を流していると言います。

また、龍頭 剛さんは当初パートとして雇用され、仕事ぶりを認められた結果、契約社員、正社員と昇格し、現在では佐賀校の事務全般を任されている若手の有望株です。「頑張れば認めてくれる」。龍頭さんの言葉は働く者にとって、何よりの励みになります。

今井理事長は「みんなが大切なものをつかむためなら、私はいくらでも待ちます。自分をダメだと決めつけてはいけない。だから、どんな境遇からでも挑戦してほしい」と語ります。人間の可能性を信じる雇用は、働く者にやる気を生み出します。

『人間の価値は障害の有無でなく、回り道をしなくてもいいから、大切なものをつかむことにある』



学校法人 久留米ゼミナール
今井正雄 理事長



仲間とともに業務に励む
西村勇介さん。



パート採用から努力を認められて
正社員となった龍頭 剛さん。